



焼津市避難所開設運営マニュアル (自主防災組織版)



このマニュアルは、指定避難所で避難所の運営を行うための受け入れ手順や注意事項を示したものです。

避難所を担当する方は、感染症に備えマスクやビニール手袋等を正しく着用し、十分注意しながら避難所の運営業務を行ってください。

地域防災課 電話 623-2554 防災計画課 電話 625-0128

焼津市防災部

焼津市避難所開設運営マニュアル (自主防災組織版)

目 次

アクション1	避難所運営班の感染症対策P2
アクション2	受付時における留意点！P3
アクション3	避難所の受付レイアウト・受付手順P4
アクション4	密を避ける避難所のレイアウトP5
アクション5	レイアウトの注意点 P9
アクション6	避難所運営のポイントについて P10
アクション7	避難所の清掃や換気の注意点 P11
アクション8	避難所運営上の注意点Q&A P12
(参考)	受付票 (兼) 健康状態チェックシートP14

《沿革》

令和2年6月26日作成 初版
令和3年5月28日改訂 第2版
令和5年 月 日改定 第3版

アクション1

避難所運営班の感染症対策

担当者は、あらゆる感染症から自身を守るため、消毒、マスク、手袋などの着用が望ましい。体調不良者の対応をする場合や嘔吐物などの処理の際は必ず装備を着用するようにしましょう。

- ① マスクは、ノーズワイヤーを押さえて鼻の形に合わせ、隙間の無いようにつける。
- ② ビニール手袋、フェイスシールドを装着したら、お互いに服装をチェックする。
- ③ 避難所班の職員の検温を行い、健康状態を確認する。



PPE (Personal Protective Equipment)

【注意1】屋外ではマスクを外し、こまめに水分補給をするなど、熱中症対策に留意すること。

【注意2】ビニール手袋をした手で顔を触らないこと。

☆ビニール手袋のはずし方

①手首に近い縁の外側をつかむ。



②手袋の内側が表になるように外す。



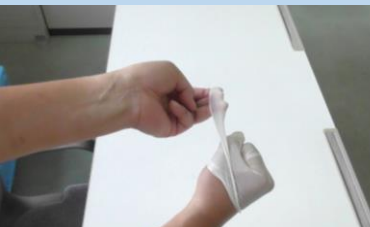
③手袋を着用している手で外した手袋を握る。



④手袋の手首の内側に指を入れる。



⑤内側から裏返すように手袋を外す。



⑥破棄した後は、しっかり手を洗う。



アクション2 受付時における留意点！

共通事項

- マスクの着用等は担当者の判断とするが、隔離スペース担当者は、感染対策を行うこと。 ※アクション1 (P2)の写真を参照
- 要配慮者（高齢者、妊婦、障害者等）や体調不良者は優先して受付を実施する。
- 要配慮者、体調不良者がいないか、避難者に声をかける。
- 土足可能な施設でも、入口で靴を脱がせ、配布したビニール袋に入れる。（履き間違えと室内汚染を防止する）
- 受付手前で、避難者の振り分けを行う。健康避難者と体調不良者が混在するため、ソーシャルディスタンスに配慮した、待機列となるよう案内をする。なお、検温については、任意とする。
- 避難所開設報告及び避難者数報告は、自主防災本部に連絡をいれ、その後も通信体制(無線機、スマホ等) がとれるようにしておく。

一般避難者

- 入口にて、健康状態に異常のない避難者は、一般受付にて、「受付票（兼）健康チェックシート」を記載する。また、防災アプリを登録されている方は、防災アプリで受付を行う。なるべく、間隔をあけて並んでもらうようにする。
- 適宜、区画作成や段ボールベッド組立などの協力を求める。
- 一般の避難スペースに振り分けられた後も密にならないようスペースの確保に努める。

体調不良者

- 隔離スペースに案内した後、避難所利用者登録票（避-1-2）の提出をお願いする。
- 体調不良者の体調を定期的に確認する。
- 隔離スペースで体調が悪化した場合などの連絡体制を確認する。

避難所受付レイアウト・受付手順 アクション3

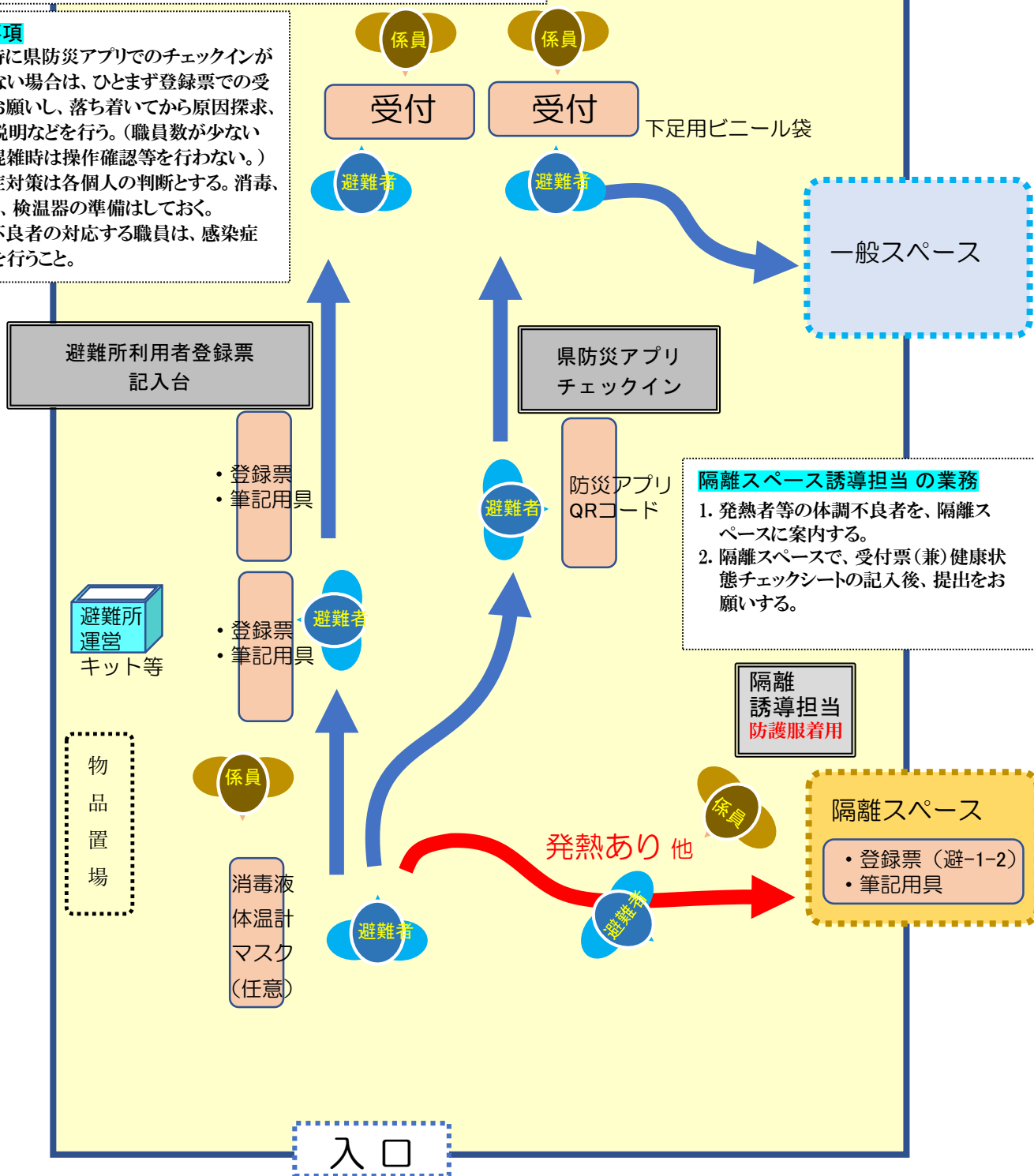
受付(避難者の集計)の業務 …避難者の情報を収集します

1. 「県防災アプリ」でチェックインした方に、人数、体調などを確認し、受付票(兼)健康状態チェックシート、鉛筆、下足用の袋を渡し、避難スペースに誘導する。
2. 県防災アプリを利用していない避難者の方は、人数、体調などを確認し、受付票(兼)健康状態チェックシート、鉛筆、下足用の袋を渡し、避難スペースに誘導する。
3. 1・2共に受付票(兼)健康状態チェックシートを記入後、提出をお願いします。
4. 「県防災アプリ」の受付は、必ず更新をかけ、あいてる時間に、アプリを利用していない避難者とご合計をする。

注意事項

- ・混雑時に県防災アプリでのチェックインが出来ない場合は、ひとまず登録票での受付をお願いします、落ち着いてから原因探求、操作説明などを行う。(職員数が少ないため混雑時は操作確認等を行わない。)
- ・感染症対策は各個人の判断とする。消毒、マスク、検温器の準備はしておく。
- ・体調不良者の対応する職員は、感染症対策を行うこと。

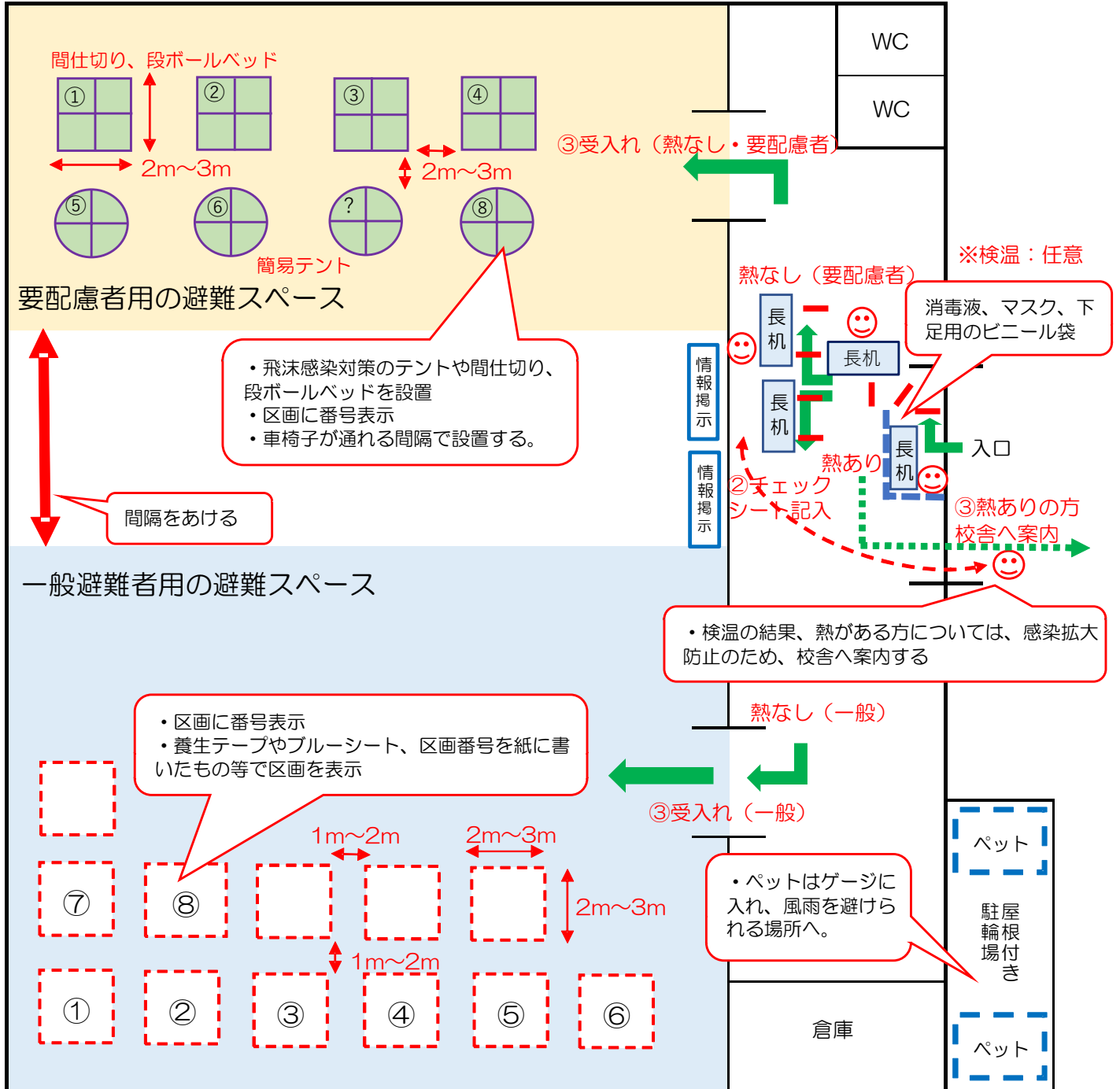
受付レイアウト



密を避ける避難所のレイアウト

<体育館の例>

【凡例】 😊 職員（従事者） ← 人の流れ（動線） ■■ イスやテーブル等

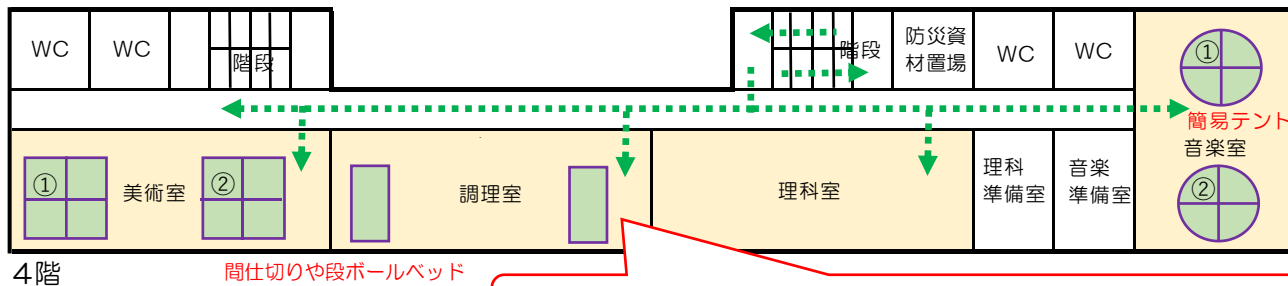


<注意点・ポイント>

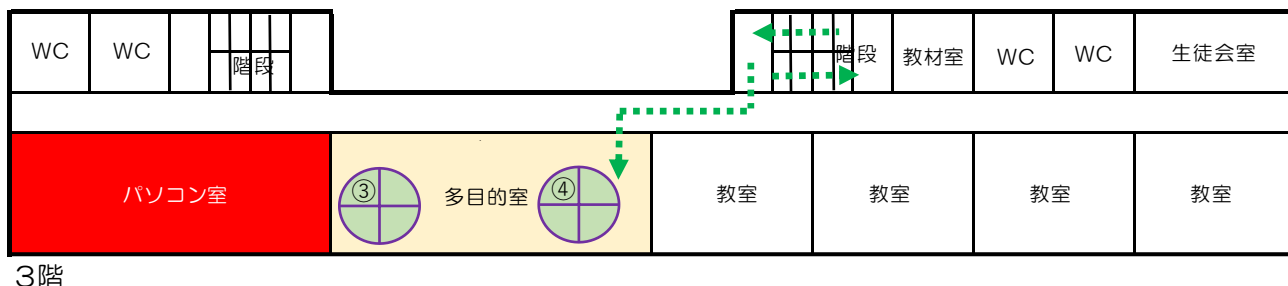
- ①受付時のレイアウトは、体育館の構造や校舎の使用の有無などによって工夫をする。
- ②体育館を一般避難者や要配慮者の避難スペースとし、校舎を熱があるなどの体調不良者の避難スペースにするなど感染症対策を徹底する。
- ③受付前に手指消毒を促し、マスクの着用を確認し、下足用のビニール袋を渡した後に検温、チェックシート記入の流れを基本とするが、ビニール袋を渡すタイミングは最後でも良いが、密状態を避けること。
- ④ペットは屋外の風雨が避けられる場所を設けることが基本であるが、適当な場所がなければ館内の避難スペースと別の場所に設置する。

＜学校校舎の例＞

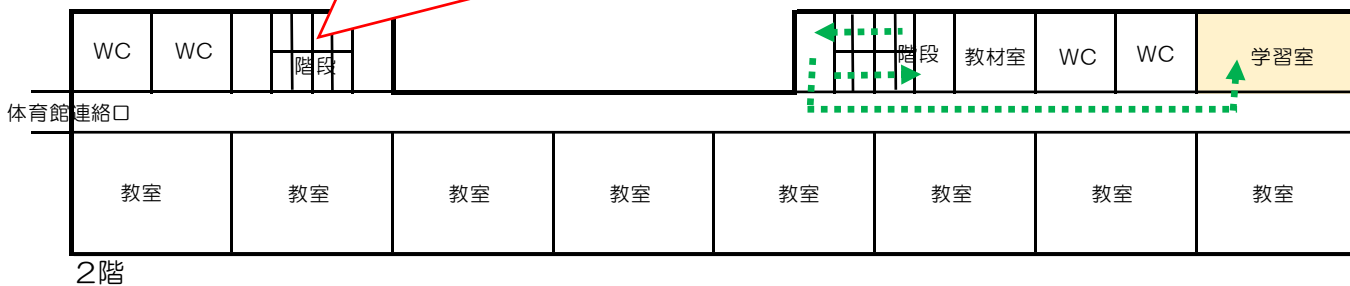
【凡例】  職員（従事者）  人の流れ（動線）  開放禁止



• 基本は、1教室に1世帯とするが、部屋の大きさにより複数世帯を避難させる。

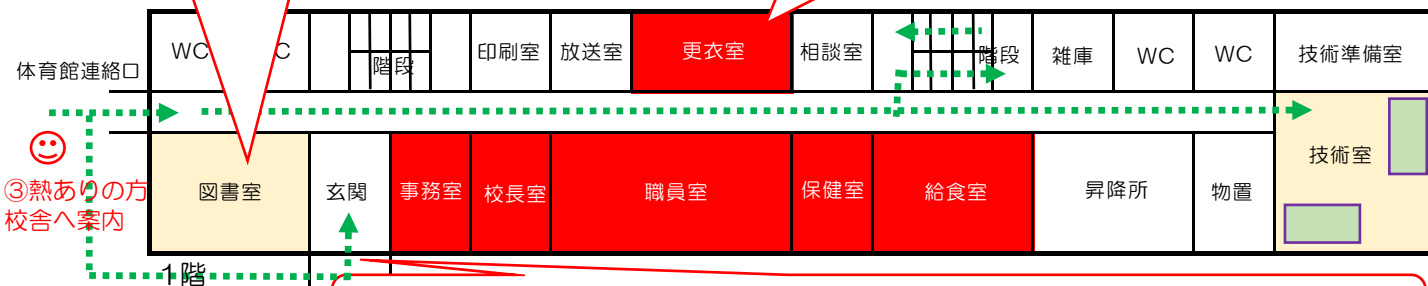


• 感染拡大を防ぐため、体調が悪い方の動線を固定する（片方の階段は使わず、職員（従事者）専用とするなど）



• 校舎内の職員（従事者）用避難者対応スペースとして確保すると良い

• 開放禁止の教室もあるので、要注意



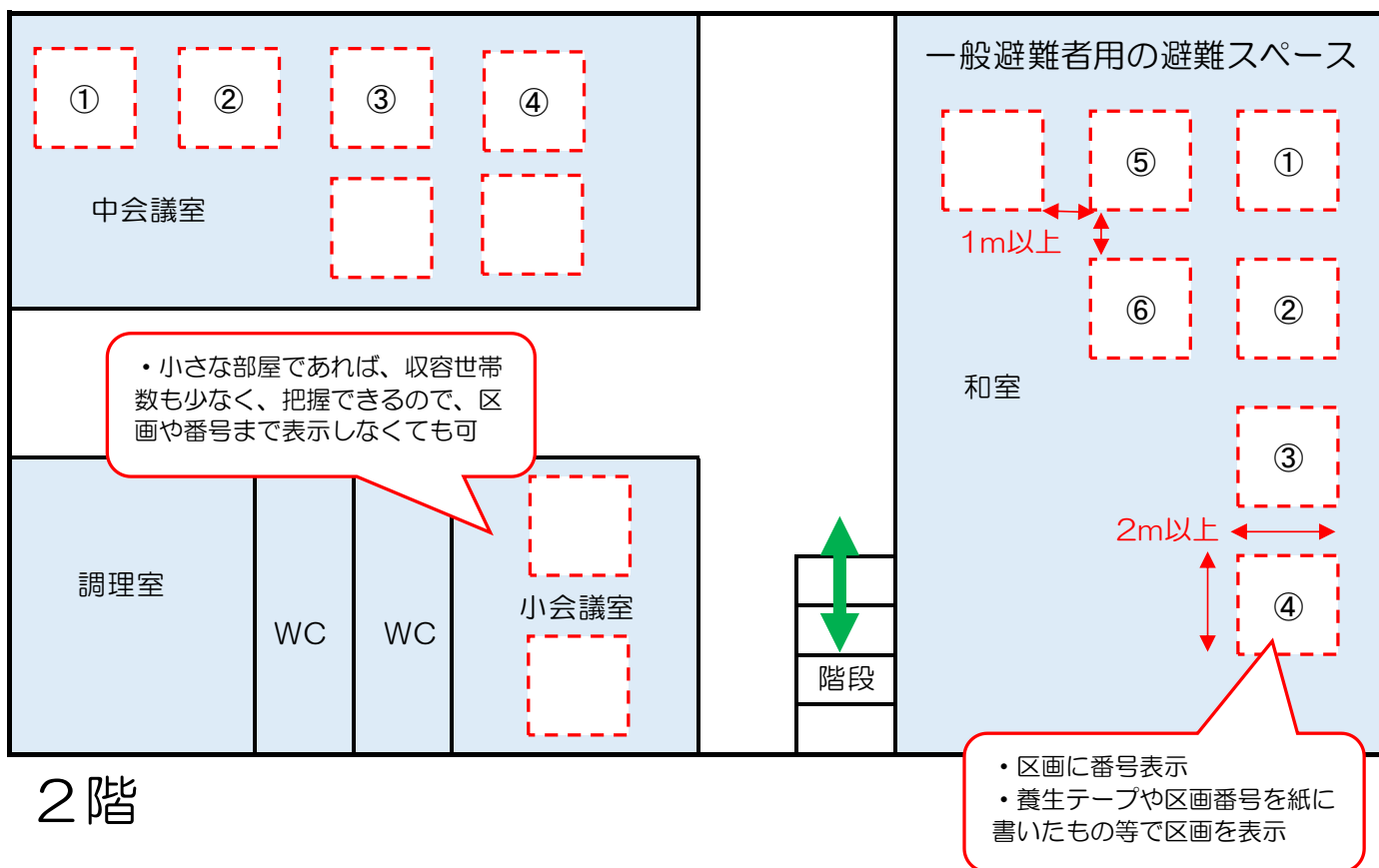
• 受付の検温で「熱あり」と判断された場合は、校舎内の避難スペースへ誘導、案内する
• 校舎によって、入り口の場所や方法が異なる

＜注意点・ポイント＞

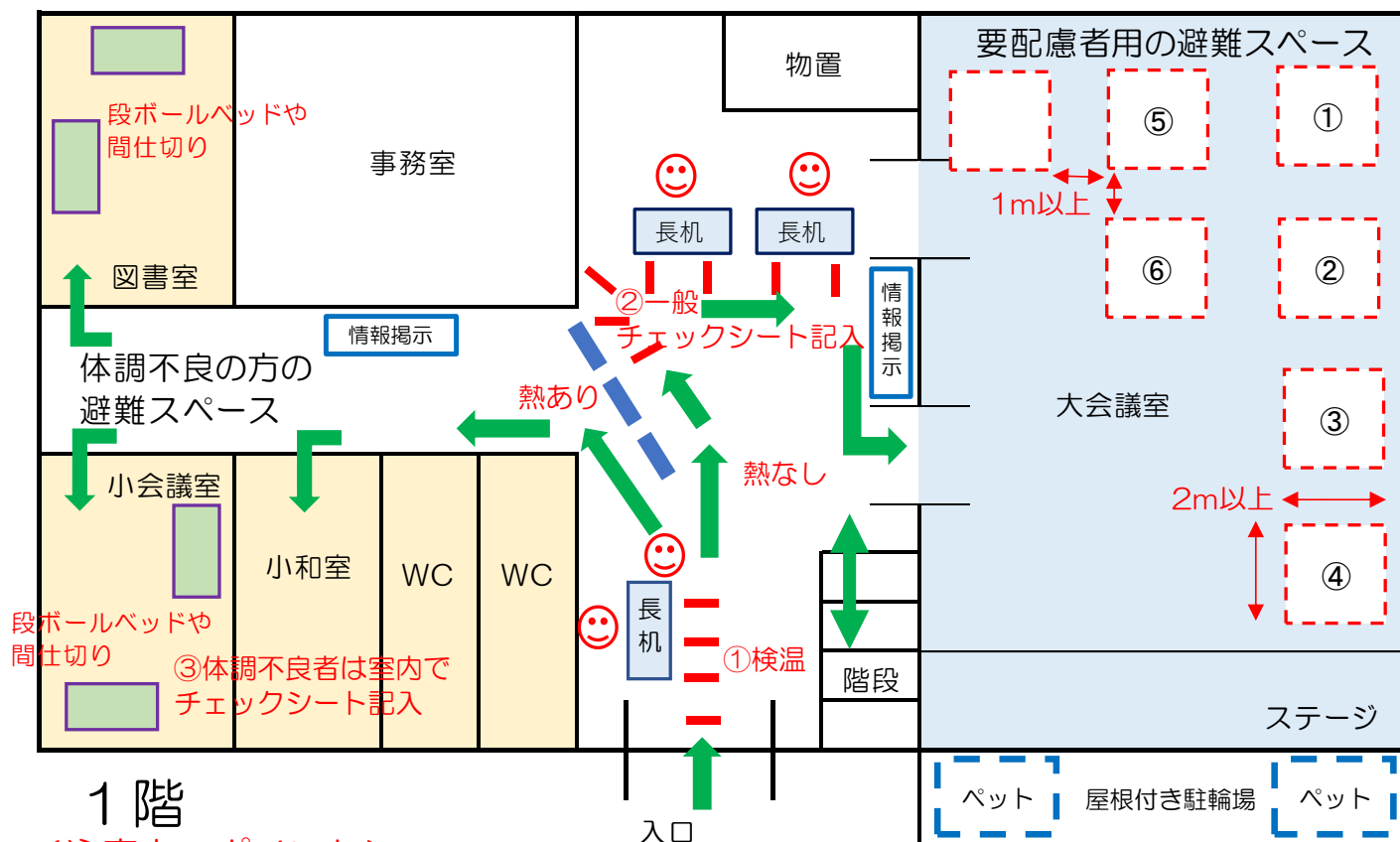
- ①「熱がある」場合は、避難スペースとして校舎内の別開放区を活用すること。
- ②開設される場所は、事前に学校側に話し、開放区の確認をしておくこと。
- ③校舎に避難者がいる場合は、1人は連絡要員として校舎内に留まるような工夫を取り。その場合、開放可能教室の1つを担当者用とし避難者対応スペースとして確保し、避難者にその場所を伝えておくこと。ただし、避難者の状況により、担当者の待機場所を検討する。
- ④健康状態チェックシートは、感染拡大防止のため避難スペースに避難したところで記入してもらうこと。

<公民館の例>

← 人の流れ（動線）



2階

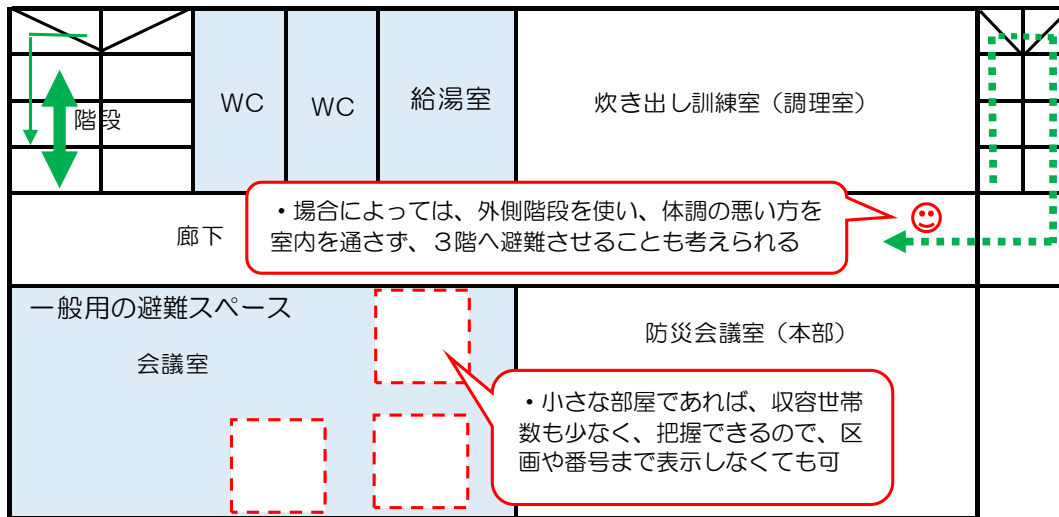


1階

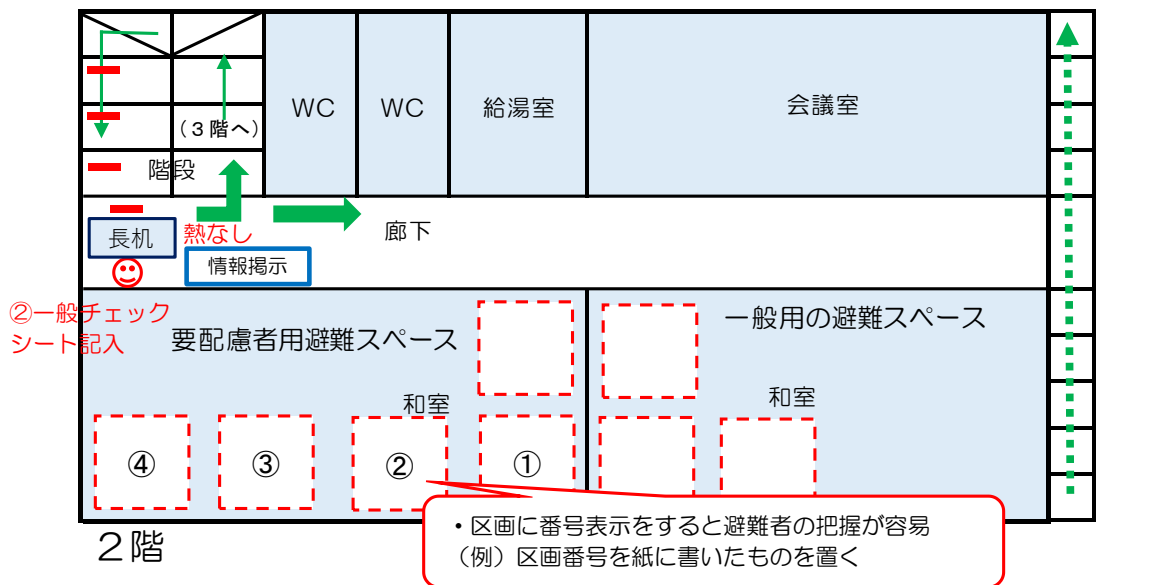
<注意点・ポイント>

- ①受付時のレイアウトは、公民館の広さや作りによって工夫をすること。
- ②体調不良者と一般避難者とは避難スペースや使用するトイレを完全に分けること。
- ③検温やチェックシート記入時に密にならないよう注意すること。
- ④ペットは屋外の風雨を避けられる場所がなければ館内の避難スペースと別の場所に設置すること。
- ⑤熱がない方でも高齢者や要配慮者は和室を優先的に案内すること。

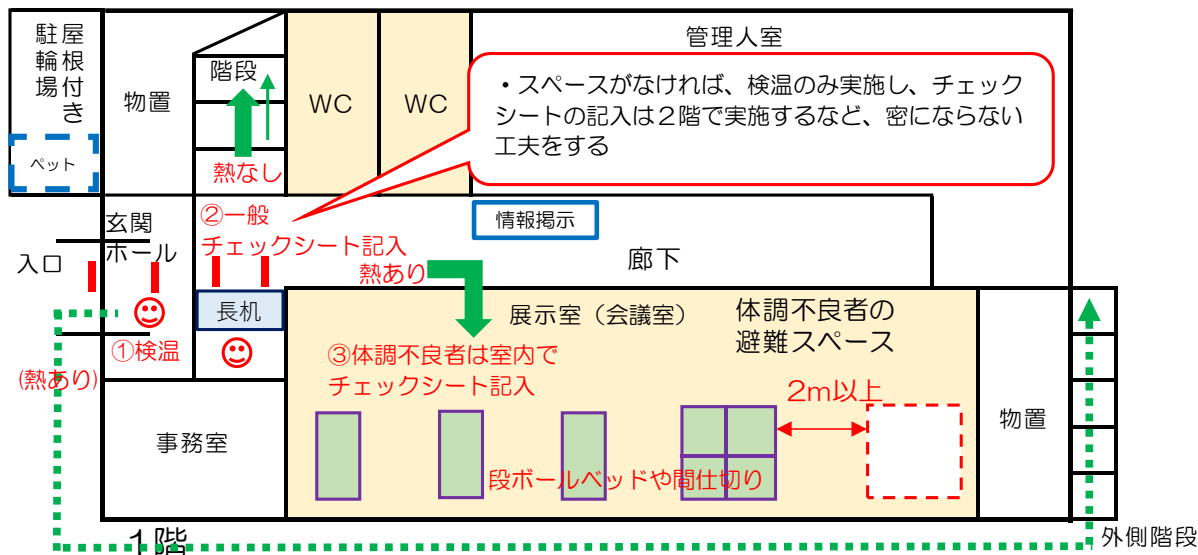
<コミュニティ防災センターの例> ← 人の流れ（動線）



3階



2階



1階

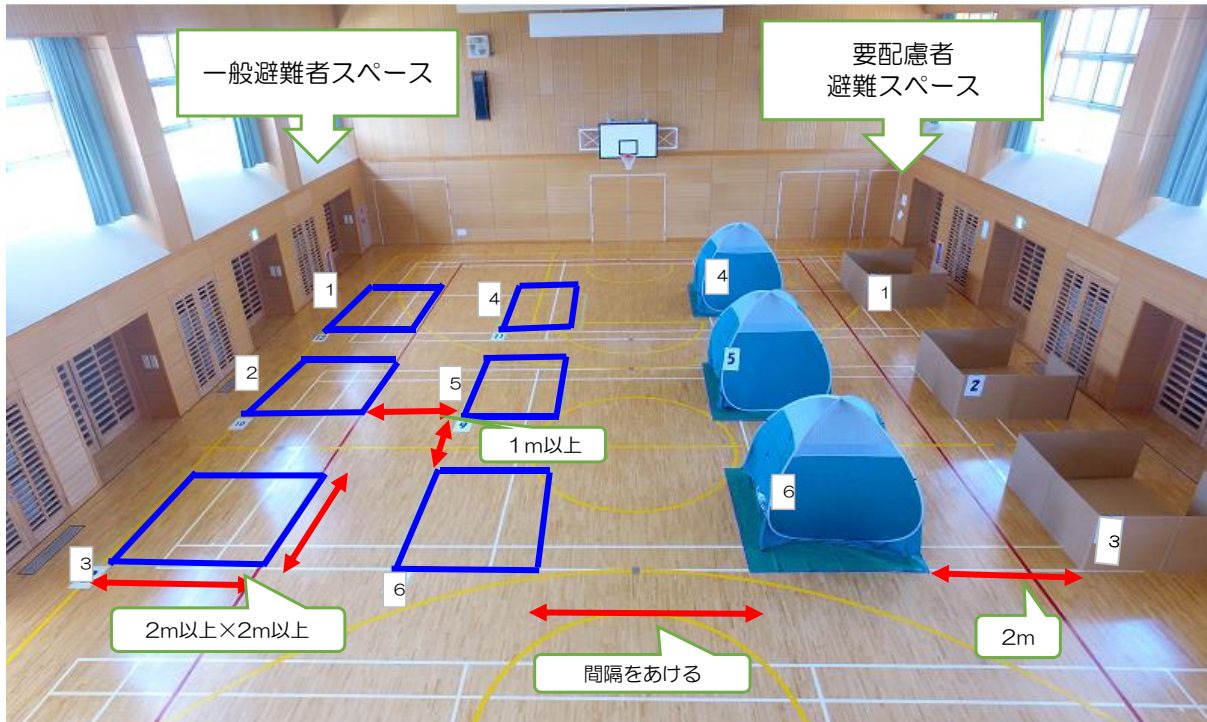
外側階段

<注意点・ポイント>

- ①受付時のレイアウトは、建物の広さや作りによって工夫をすること。
- ②外側階段を使って体調不良者を3階に避難させ、一般の方を1階と2階に避難させる方法もある。
- ③建物が狭いので、密状態を避けるためチェックシート記入場所を玄関以外に設置するなど工夫が必要。
- ④ペットは屋外の風雨が避けられる場所がなければ館内の避難スペースと別の場所に設置すること。

レイアウトの注意点

アクション5

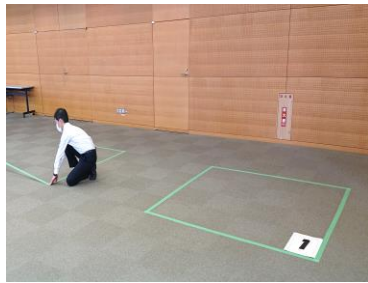


<レイアウトの参考例示>

同じフロア内に一般避難者と要配慮者が避難する場合は、密状態に注意し、要配慮者用にイスやテント、間仕切りなどを設置する。

<居住スペース>

1区画は2m四方を基本とし、養生テープ等で区画を作り、区画番号用紙を貼る（置く）
※養生テープで四隅だけでも良い



<簡易テント>

袋から取り出し骨組みの反動で広げたら、壁となる4面を広げると自立させることができる。



<段ボール間仕切り>

1m四方の段ボールを田の字に並べ、折りたたんである段ボールを囲み養生テープで固定する。※入口を隣の間仕切りの入口と重ならないようにする。



<段ボールベッド>

折りたたんである段ボールを広げて並べ、その上に1m×2mの段ボールを敷く。頭側に間仕切りを並べる。



<設営が完了>

設営が完了したら、災害対策本部へ連絡する



<本部から避難所開設の連絡>

「〇〇地区に対し、〇時〇分、高齢者等避難」を発令



避難者の受け入れ

アクション6

避難所運営のポイントについて

時間の経過に合わせ「避難者の受け入れ」から「避難所の運営」も重要になります。

①受付票（兼）健康チェックシートの整理とまとめ

- 受付時に記入してもらった「受付票（兼）健康状態チェックシート」を整理
- 避難者数（人数・世帯数（その内、自主避難者数・世帯数））を集計
- 持病がある方や高齢者等の要配慮者の有無を確認

②避難スペースの避難者収容可能人数の把握

- 密状態を避けるため、受入れ可能人数を把握しておく
- 駐車場で車中泊をしている方も把握しておく



③災害対策本部への報告・連絡・相談

- 基本的には、災害対策本部から報告依頼を受信したら報告する。報告事項は、避難者数（人数・世帯数（その内、自主避難者数・世帯数））、受入れ可能人数（状況でも良い）とする
 - ※自主避難者数・世帯数は、「高齢者等避難」が発令される前までの数字をカウントする
- 避難所の様子や必要な物資、判断できない問題や事象などを連絡、相談
- 緊急の確認事項があれば、災害対策本部に問い合わせる

④気象や避難情報などの収集、伝達

- テレビ、ラジオ、スマホ等を活用し情報収集を心掛けましょう
- ホワイトボードを活用し、避難者への情報提供を心掛けましょう

⑤避難所の清掃、換気など

- 30分に1回5分程度の換気や1日3回以上の清掃・消毒を行う（トイレやドアノブなど）

⑥避難者の健康状態の把握

- 普段の生活環境と異なるため、避難者の健康状態を確認しましょう
- 夏季は室内でも熱中症に注意し、こまめな水分補給や軽い運動を励行しましょう

⑦職員も余裕があれば交代で休憩を！

- 避難者の受け入れや運営が一段落したら、交代で休憩を取りましょう
- 避難者や自主防災会の役員さんなどで運営に協力いただける方がいれば、避難者の避難スペースへの誘導や清掃、換気、健康状態の確認など一緒に手伝ってもらいましょう

避難所の清掃や換気の注意点

施設や設備の消毒はこまめに

- 施設の消毒については、こまめに行うことが大切
- ドアノブ、手すり、蛇口等、特に直接避難者の身体が接触する共用部分については、1日3回以上を目安に消毒を行う。
- 消毒液やウェットティッシュ、ペーパータオルなどを上手に活用



※素手で触るところはこまめに！

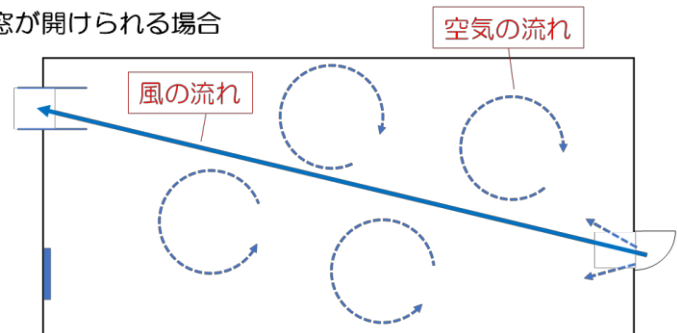
トイレについて

- トイレの使用については、体調不良者用と一般避難者用に分ける。
- 体調不良者用は、出来る限り移動距離が短くなるように配置する。
- 施設によってはトイレの数が限られることやトイレが使用できなくなる可能性もあることから、簡易トイレの設置も検討する。

換気について

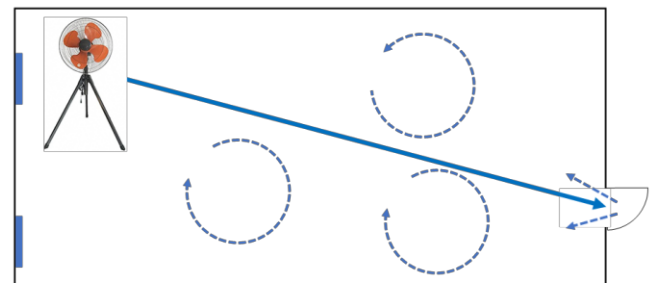
- 30分に1回5分程度の換気することが重要（窓開け、配備した送風機の活用等による）
- 窓を開けることが出来ない場合は、送風機を入口に向けて配置して、空気を循環させる。（右図を参照）

※窓が開けられる場合



入口の対角線上にある窓を開ける

※窓が開けられない場合



送風機を入口に向けて配置する

ゴミについて

- 避難者が出したゴミについては、基本的には各自持ち帰っていただく。
- 使用済みのマスクや手袋については、汚染部分に触れないように外して捨て、捨てた後は、石鹸で手を洗い流す。

アクション8

避難所運営上の注意点Q & A

Q1. 高熱等、病気が疑われる避難者が来た場合、どのように対応すれば良いか？

A1. 別室が用意できる場合は、一般避難者と隔離します。別室を用意できない場合は、テント等飛沫感染を防ぐことの出来る機材を用いて隔離しましょう。



十分に距離を空ける



Q2. ペットを連れて避難してきた場合、どのように対応すれば良いか？

A2. ペットについては、ゲージに入れる、もしくは支柱にリードを繋いで、外で管理してください。動物アレルギーを持つ避難者がいる可能性があるため、補助犬を除き、避難所内に連れていけません。また、ネームプレート等を着用し、直ぐに飼い主が分かるようにしておくことが望ましいです。



Q3. 妊婦が避難してきた場合はどのように対応すればよいか？

A3. 緊急連絡先を確認した上で、受け入れてください。また、座る姿勢により負担がかかる場合は、状況に応じて椅子や座布団を準備するといいでしょう。

Q4. 備蓄用の非常食を提供して良いか？

A4. 原則として、食事や衛生用品については、避難者が準備することとなっていますが、災害の状況により、止むを得ない場合は、災害対策本部にご連絡ください。

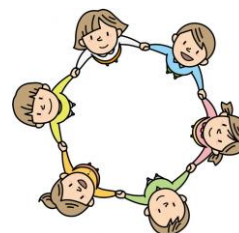
Q5. 避難所が停電したらどうすれば良いか？

A5. 各避難所に保管されている発電機を使用してください。保管場所は、避難所開設キットの中にある「避難所用発電機（エネポ）配備場所」を確認してください。



Q6. 他の地区の人が避難して来た場合、受け入れて良いか？

A6. 居住地や自主防災会にかかわらず、避難者として受け入れてください。



Q7. 避難者が増え避難スペースが足りなくなってきました。新たに教室（部屋）を開放しても良いか？

A7. 事前に各避難所の収容人数と使用する部屋を決めているため、収容人数を超える恐れがあれば受け入れをストップします。事前に災害対策本部までご連絡ください。

Q8. 浸水により体育館に留まることが危険になってきました。校舎に避難しても良いか？

A8. 周囲の状況を確認し、落ち着いて避難してください。ただし、風雨の状況により、移動困難や危険が伴う場合は、体育館に留まることも安全な場合もあります。事前に災害対策本部までご連絡ください。



Q9. 体調不良者や急病人が発生した場合はどうすれば良いか？

A9. 119番に電話して救急車を要請してください。その後、災害対策本部に状況を報告してください。



(参考)

受付票 (兼) 健康状態チェックシート

【避難者用】

※太枠内をご記入ください。

		受付日時	月 日 ()		時 分
名前 (家族1)		年齢	才	性別	男・女
住所					
体温	度 分		避難所にて検温・自宅 () 時頃		
自治会等	自治会 町内会		組 (分からない・未加入)		

※家族記入欄 (家族で避難した場合は、家族2～5に氏名と年齢を記入してください。)

	氏名 / (年齢) / (性別)		氏名 / (年齢) / (性別)
家族2	() (男・女)	家族3	() (男・女)
家族4	() (男・女)	家族5	() (男・女)

※家族にも当てはまる方がいましたら教えてください。

1 から 7 の症状に当てはまるものが		なし → 8 の質問へ		・	あり →	/	頃 から
1	<small>しょうじょう あ</small> 37.5度以上の発熱	2	<small>かぜ しょうじょう のど いた</small> 風邪の症状 (喉の痛み、咳、鼻水、頭痛)				
3	<small>いきぐる</small> 息苦しさ	4	<small>けんたいかん からだ</small> 倦怠感 (身体がだるい)				
5	<small>きゅうかく みかく</small> 嗅覚・味覚がおかしい	6	<small>げり おうと しょうじょう</small> 下痢や嘔吐の症状				
7	<small>げんびょうれき</small> 現病歴 <small>こうけつあつしょう どうようびょう ぜんそく どう</small> (高血圧症・糖尿病・喘息 等)	<small>あり →</small> 病名: ()					
		<small>ナイフクヤク</small> 内服薬: なし・あり ()					
8	1週間以内に上記の症状あり (ある場合: その番号)			ない場合: 質問終了			

<市職員記入欄>

			通し番号	
避難所名				
避難区画No.	(一般・その他) -	退所日時	月 日 () 時 分	
確認者				
備考				